

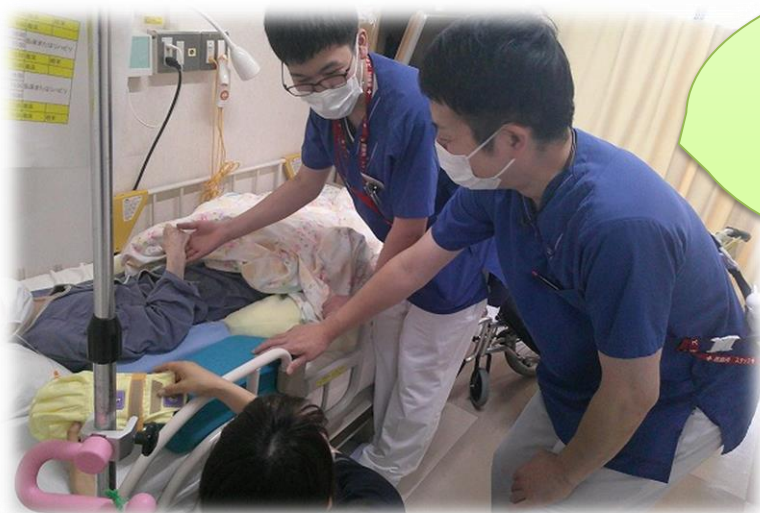
看護部通信 ～第4病棟の取り組み～

令和8年度の診療報酬改定により「身体的拘束最小化」の取り組みが強化されました。
当病棟でも身体拘束を実施しないよう常に検討しています。

急性期病院で身体拘束を実施していても、当病棟では身体拘束を行わないために、常に環境を整え、患者さんに寄り添いながら、安全に過ごせるよう見守りを行っています。

その中で、どうしても不意に動いてしまうなどの行動がみられる場合は、センサー類を使用し行動を見守っています。

※「身体的拘束最小化」とは、患者さんを尊重し行動の制限や身体の手束を行わず、緊急やむを得ない場合でも最小限にする取り組み



ベッドサイドで身体拘束を
外す検討をしています。



チームで集まり、身体拘束を
行わない検討をしています。

